

| | | | | | | | |
|---|-----|--|-----|--------------|------------------|----------------|--|
| 〔科目名〕 商業実習(2026年度 令和8年度) 1月20日現在 | | | | 〔単位数〕 4単位 | | 〔科目区分〕 教職課程 | |
| 〔担当者〕 砂場 孝一郎 Sunaba kouichirou | | 〔オフィス・アワー〕 時間 : 授業実施日の授業終了後の時間 場所 : 5階の非常勤講師控え室 又は ロビー | | | 〔授業の方法〕 講義 演習 | | |
| 〔科目の概要〕 この科目は、商業科教師を育成する教職課程の選択科目である。受講する学生には、教科「商業」の高校教師を目指すことを前提として学ぶことを希望する。授業内容は、高校生を商業に関する「将来のスペシャリスト」に育成するという観点から、専門分野の基礎的・基本的な知識・技術及び技能を身につけるものである。受講する学生は、教師を目指すにあたり、社会的責任を担う職業人としての規範意識や倫理観などを身に付け、豊かな人間性の涵養に配慮した教育を行うため、新たに求められる商業に関する教育内容や方法を理解しなければならない。 文部科学省は、次期高等学校学習指導要領を更新する「論点整理」を公表している。その概要は、目標内容の構造化・見やすく・使いやすくを基本とするとしている。特に情報教育の取り扱いは重要であり、商業教育の在り方も大きく変化するものと予想される。これまでの商業教育のねらいであった①資質・能力を確実に育成する ②確かな学力を育成する ③豊かな心や健やかな体を育成する の3点是不変のもの思う。このことに取り組む将来の教師を育成しなければならない。 | | | | | | | |
| 〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 高等学校商業科教員免許取得のためには、本科目の履修が有効となる。商業高校生の進路は、かつての就職中心から、近年では進学希望者も増加し、多様化してきている。 このような商業教育を学ぶ高校生の変容を考慮した上で、商業教育の意義や教科・学科の特色、指導上の留意点などについて、教育現場での現実の課題や問題点を意識しながら、実践的な理解を深めることにより、商業科教師としての基本的な資質を身につけるために学ぶ科目である。 | | | | | | | |
| 〔科目の到達目標〕 当該科目は、教職課程の選択科目である。 商業科教師を目指す受講生には、次のことが求められるので、この科目の目標とする。 ① 商業科教師には、商業を学ぶ高校生に、商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスに対する望ましい心構えや理念を身につけさせ、ビジネスの諸活動を主体的合理的に行うための指導力を育成することが求められる。以上のことが中間的な目標である。 ② 次に商業科教師には、商業を学ぶ高校生に、望ましい人間関係・社会性・倫理観などの豊かな人間性、さらには、主体性、自己責任の観念、独創性などを育成し、人としての資質を育成することが求められる。そのために、商業科教師には、企業経営に対する正しい考え方や、ビジネスの諸活動における豊かなコミュニケーション能力を資質として有することが求められる。 以上の資質を身につけることが、この科目の最終目標となる。 | | | | | | | |
| 〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕 | | | | | | | |
| 学部 | | | | 学科 | | | |
| DP1 | DP2 | DP3 | DP4 | DP1 | DP2 | DP3 | |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 学生の「授業評価」は、授業担当者が成長するための基礎・基本となるので、これまで指摘をいただいた授業評価内容(板書の仕方等)を真摯に受け止め、授業改善に生かしていきたい。 | | | | | | | |

| | |
|--|--|
| 〔教科書〕 購入は不要である。必要に応じて、商業、経済に関する資料、新学習指導要領等の資料を配賦する。 | |
| 〔指定図書〕 「21世紀の商業教育を創造する」 日本商業教育学会 編 実教出版 | |
| 〔参考書〕 なし | |
| 〔前提科目〕 なし | |
| 〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 学修の課題は、高校教師(指導者)としての資質を身に付けることである。 評価の方法は、(1)課題のレポート提出(1回) (2)筆記小テスト(授業内で2回) (3)プレゼンテーションの実施 (4)授業の履修・態度を通して、学習意欲の有無、 及び 目標への到達度を判断し、絶対評価(100点法)で行う。 ※それを本学の評定基準に従い、総合的な5段階評定を行う。 ※因みに、授業に出席さえすれば単位認定される、とは限らない。 | |
| 〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 この授業の担当教員として、学生に講義する教材を十分に吟味して、高校学習指導要領の商業教育の方向性を示し、指導技術や指導方法などを身に付けるための授業を展開したい。学生には、意欲を持ち、真剣に授業に望んで欲しい。特に、板書した内容をノートに記述し、学生自らも板書技術を磨いて欲しい。 因みに、教員採用試験は、筆記用具による記述形式の部分も相当にある。 なお、学生が授業を欠席する際の担当教員への連絡は、原則として不要とする。 | |
| 〔実務経歴〕 該当なし | |
| 授 業 ス ケ ジ ュ ー ル | |
| 第1回 | テーマ(何を学ぶか)：オリエンテーション 内 容：講義の目的と内容、進め方、評価の方法 及び 課題提出の方法 について 教科書・指定図書 |
| 第2回 | テーマ(何を学ぶか)：営業活動の自由と制限 内 容：商法上の営業自由と制限 教科書・指定図書 |
| 第3回 | テーマ(何を学ぶか)：独占禁止法 内 容：独占禁止法が規制する行為 教科書・指定図書 |
| 第4回 | テーマ(何を学ぶか)：売買取引の方法(関連法規と商慣習) 内 容：売買契約の締結、はんこ(印鑑)の実務 教科書・指定図書 |
| 第5回 | テーマ(何を学ぶか)：下請代金支払遅延等防止法 内 容：親事業者・下請事業者の定義 親事業者の義務 教科書・指定図書 |

| | |
|------|--|
| 第6回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 物の売買について</p> <p>内 容 : 売買とは 不動産の売買 動産の売買 債権の売買</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第7回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 取引上の不法行為</p> <p>内 容 : 一般的な不法行為 特殊な不法行為</p> <p>教科 書・指定図書</p> |
| 第8回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 日本と外国の会社役職名</p> <p>内 容 : その違いと最近の現状</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第9回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 日本の証券取引所</p> <p>内 容 : 証券取引所の機能と役割 ・ 存在意義</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第10回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : ビジネス計算の基礎</p> <p>内 容 : 利息の計算・日数計算</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第11回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : コーポレートガバナンス (C G)</p> <p>内 容 : C G が注目される背景 C G は何のために必要か</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第12回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : ビジネスとコミュニケーション</p> <p>内 容 : 学生によるプレゼンテーション(経営経済の時 事的なことを主なテーマとする)</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第13回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : ビジネスとコミュニケーション</p> <p>内 容 : 学生によるプレゼンテーション(経営経済の時事的なことを主なテーマとする)</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第14回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : ビジネスとコミュニケーション</p> <p>内 容 : 基礎的なビジネスマナー(挨拶・身だしなみ・話の聞き方・話し方・電話対応)</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第15回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : ビジネスとコミュニケーション</p> <p>内 容 : 人間関係 (ヒューマン ・ リレーション)の重要性</p> <p>教科書・指定図書</p> <p style="text-align: right;">筆記小テスト (1回目)</p> |
| 第16回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 企業活動の基礎</p> <p>内 容 : 企業の形態と経営組織(1)</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第17回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 企業活動の基礎</p> <p>内 容 : 企業の形態と経営組織 (2)</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第18回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 企業活動の基礎</p> <p>内 容 : 学生によるプレゼンテーション(企業ガバナンスを主なテーマとする)</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第19回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 企業活動の基礎</p> <p>内 容 : 学生によるプレゼンテーション(企業ガバナンスを主なテーマとする)</p> <p>教科書・指定図書</p> |

| | |
|------|---|
| 第20回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 企業活動の基礎</p> <p>内 容 : 企業活動と税(法人税・消費税・印紙税・関税等)</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第21回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 企業活動の基礎</p> <p>内 容 : 雇 用(働き方改革・労働関連法令)</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第22回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 経済社会と法</p> <p>内 容 : 経済関連法の意義と役割</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第23回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 権利・義務と財産権</p> <p>内 容 : 権利と義務、物権と債権</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第24回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 権利・義務と財産権</p> <p>内 容 : 知的財産権</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第25回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 取引に関する法</p> <p>内 容 : 契約と意思表示、売買契約と賃貸契約</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第26回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 取引に関する法</p> <p>内 容 : 債権の管理と回収、金融取引</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第27回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 企業の責任と法</p> <p>内 容 : 法令遵守、紛争の予防と解決</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第28回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 企業の責任と法</p> <p>内 容 : 消費者保護</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第29回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 商業教育の現状と課題</p> <p>内 容 : 高等学校の生徒数減少と学校の統廃合、商業に関する学科の卒業生の進路 次期高校学習指導要領の概要と論点整理と商業教育の方向性について</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第30回 | <p>テーマ(何を学ぶか) : 商業科教員になるには</p> <p>内 容 : 商業科教員に必要な資質・能力と教員の働き方改革の現状 筆記小テスト(2回目)</p> |
| 試 験 | <p>授業の中で、筆記小テストを2回 実施する。</p> <p>(1回目は第15回の授業の中で・2回目は第30回の授業の中で実施)。</p> |